

災害時の「食」のこと、真剣に考えませんか？

災害時こそ、普段食べ慣れた食事が心と体を元気にしてくれます。
自宅での避難生活に備えて、各家庭で食料など必要な備蓄をしましょう。
自分と家族の命を守るため「いま」できることから考え、備えていきましょう！

参加者に
防災グッズ
プレゼント！

「元気になる災害食」

～自分と家族の命を守る備蓄の知恵～

- 日時** 6月28日(金)14時～16時(開場13時)
- 会場** 泉公会堂 講堂
- 講師** 防災クッキングアドバイザー
鈴木 佳世子さん
- 定員** 300人(応募多数の場合抽選)
- 申込み** 6月21日までに **電子申請** または電話で



講演前にも楽しく防災を学べます！ 13時～14時

- 講師監修「災害食」の試食(先着200人)
- ハザードマップ、給水所マップ等の展示
- 泉区災害対策動画の上映 ● 「ベジチェック」測定

目標は1週間！
最低3日分の備蓄をしましょう

- 水は1人1日3リットルを！
- 米飯や麺など「主食」とあわせて、「おかず」のストックも！
- 特別な食品でなく、普段食べている食品の「ローリングストック」がおすすめ！
- カセットコンロなどの熱源があるとさらに安心！



☎ 健康づくり係 ☎ 800-2445 ☎ 800-2516

地域に住む人・働く人が手をつなぎ、誰もが安心して住める街



認知症について正しく理解し、身近でできることを実践することは、自分自身や自分の大切な人が将来暮らしやすい街につながります。

「認知症世界の歩き方」 事前申込不要 参加費無料

～認知症のある人が生きている世界を知ろう～

日時 7月6日(土)14時～16時
(開場13時30分)

会場 泉公会堂 講堂

講師 特定非営利活動法人
イシュープラスデザイン代表
認知症世界の歩き方 著者
菅 裕介 さん

対象 区内在住または区内で認知症支援に携わる人
当日先着300人



NHK Eテレで
番組化！

ご存じですか？ 認知症に理解のある、やさしいお店・事業所にステッカーを交付しています！

このステッカーを貼っているお店や事業所には、「認知症サポーター」がいます。
「認知症サポーター」は、認知症サポーター養成講座を受講し、地域で認知症の人やその家族に対して、できる範囲で手助けをする人たちのことです。泉区では、認知症サポーターやステッカー交付事業者とともに、誰もが安心して住める街づくりを進めています。



▲認知症サポーターステッカー

☎ 高齢者支援担当 ☎ 800-2434 ☎ 800-2513

🐾 飼い主のいない猫のためにできること 🐾

ポイント エサやお皿を放置しない！

- エサはお皿にのせてあげましょう。
- 食べ終わるまで見守るなどして、食べ残しは必ず片づけましょう。



ポイント 糞尿対策をしましょう！

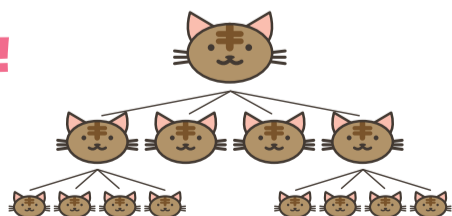
- 糞尿対策として“猫トイレ”を設置しましょう。
 - “猫トイレ”を設置したら必ず片づけましょう。
- ※自宅以外の場所で餌やりや猫トイレを設置するときは、土地の管理者等の了承を得ましょう。



ポイント 不妊去勢手術を行いましょう！

横浜市では、「飼い主のいない猫」を増やさないために、手術費の一部を補助する制度があります。不妊去勢手術をしないと、あっという間に増えてしまいます！

本制度を活用して、野良猫を保護し不妊手術を行い、繁殖を制限(TNR活動)することで、飼い主のいない猫の数を自然に減らしていくことができます。



半年後

1年後



手術費用の補助については
横浜市 猫の不妊去勢 検索



(耳カットされている猫は、手術後のしるしです)

☎ 生活衛生係 ☎ 800-2452 ☎ 800-2516